

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 期間を通して日本の東の高気圧が日本の南に張り出す。
- 29日から30日にかけて高気圧が北日本から日本の東に移動する。
- 7月1日から3日にかけて気圧の谷が日本海から東日本にのびる。

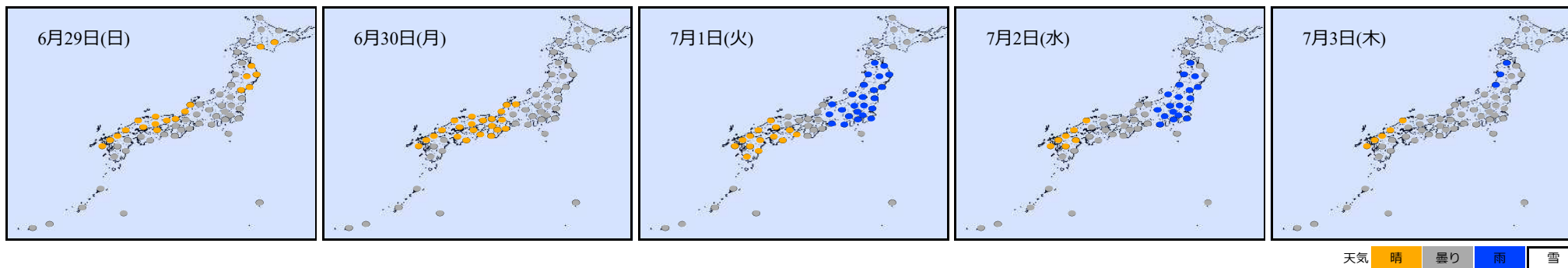
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 西日本と沖縄・奄美では、気温が高くなる見込み。熱中症など健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

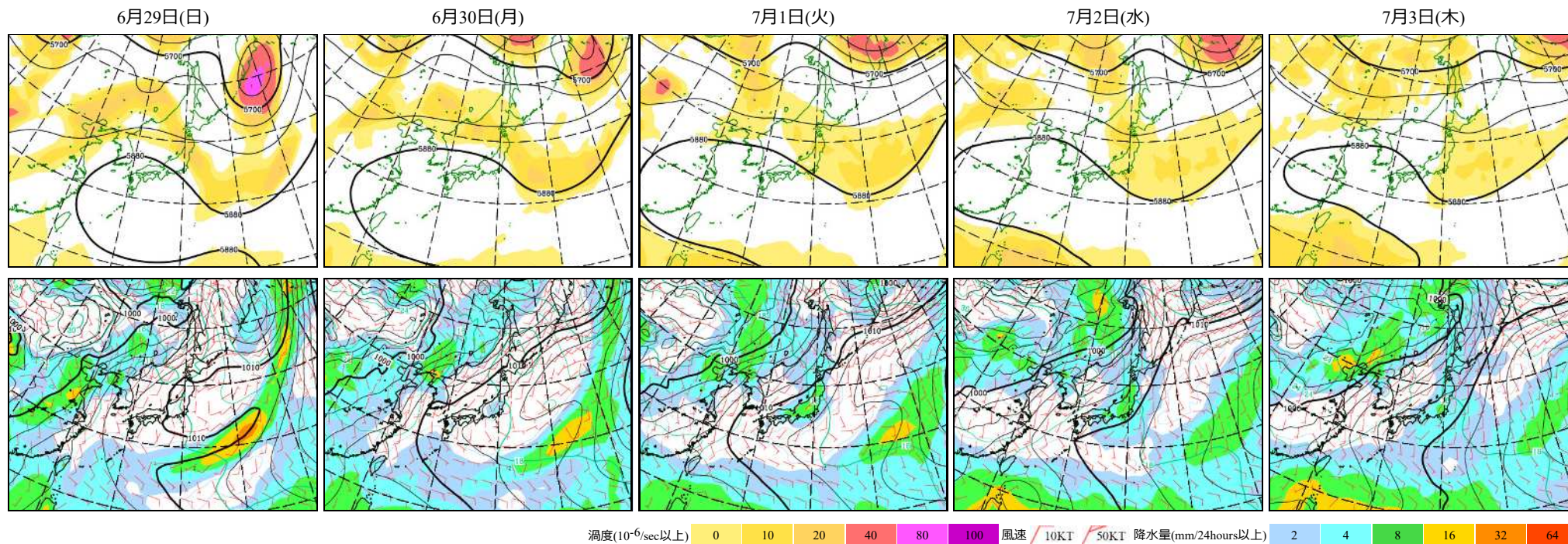
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

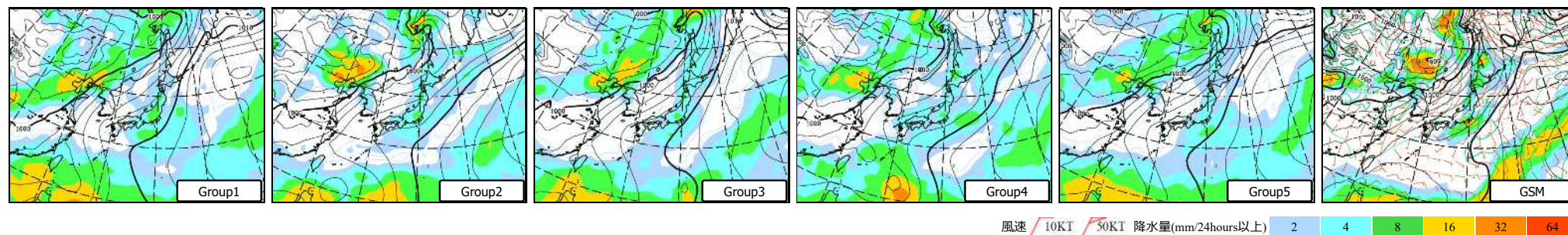


- 北日本は、曇りや雨の日が多いが、29日は晴れる所がある。
- 東日本は、曇りや雨の日が多い。
- 西日本は、曇りや晴れの日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りの日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆7月3日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、29日から30日は日本の東の高気圧の日本付近への張り出しが強くなった。1日から2日にかけては日本の東の高気圧の日本付近への張り出しが弱くなった。降水確率ガイダンスの値は1日から2日に東日本付近で大きくなった。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。